

懐かしい未来を紡ぐ
あつみワークショップ
～体験&体感！はじめてのSDGs～



いにしえの
知恵/生活

SDGs 17つ
の目標

ベース・コンセプト

温海に息づく自然と共生する暮らしや知恵を
体感&再発見する機会を通じて、
SDGsを身近に感じてもらう契機とする。

▶ 狙い(新しい顧客層の開拓)

温海温泉の既存顧客とは違った、新しいターゲットを見出し、コミュニティ化することで、新しいマーケットの開拓につなげる。

▶ クリアな方向性

SDGsの17つのテーマの中から、毎回1つのテーマを取り上げて、ワークショップやセミナー等のイベントを開催。参加する意義を強調。(組み合わせあり)

▶ つながり力(ロイヤリティ)の醸成

テーマに賛同する人をターゲットに集客。小規模&ロイヤリティの高いコミュニティを形成し、情報発信と継続性(リピート率)を高める。

▶ 継続性(サステナビリティ)

それぞれのイベントをつなげて、全体としてSDGsを発信することで総合的なバリューを発揮。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



(貧困)

2 飢餓をゼロに



(飢餓)

3 すべての人に健康と福祉を



(保健)

4 質の高い教育をみんなに



(教育)

5 ジェンダー平等を実現しよう



(ジェンダー)

6 安全な水とトイレを世界中に



(水・衛生)

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



(エネルギー)

8 働きがいも経済成長も



(成長・雇用)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



(イノベーション)

10 人や国の不平等をなくそう



(不平等)

11 住み続けられるまちづくりを



(都市)

12 つくる責任 つかう責任



(生産・消費)

13 気候変動に具体的な対策を



(気候変動)

14 海の豊かさを守ろう



(海洋資源)

15 陸の豊かさを守ろう



(陸上資源)

16 平和と公正をすべての人に



(平和・公正)

17 パートナースhipで目標を達成しよう



(パートナーシップ)

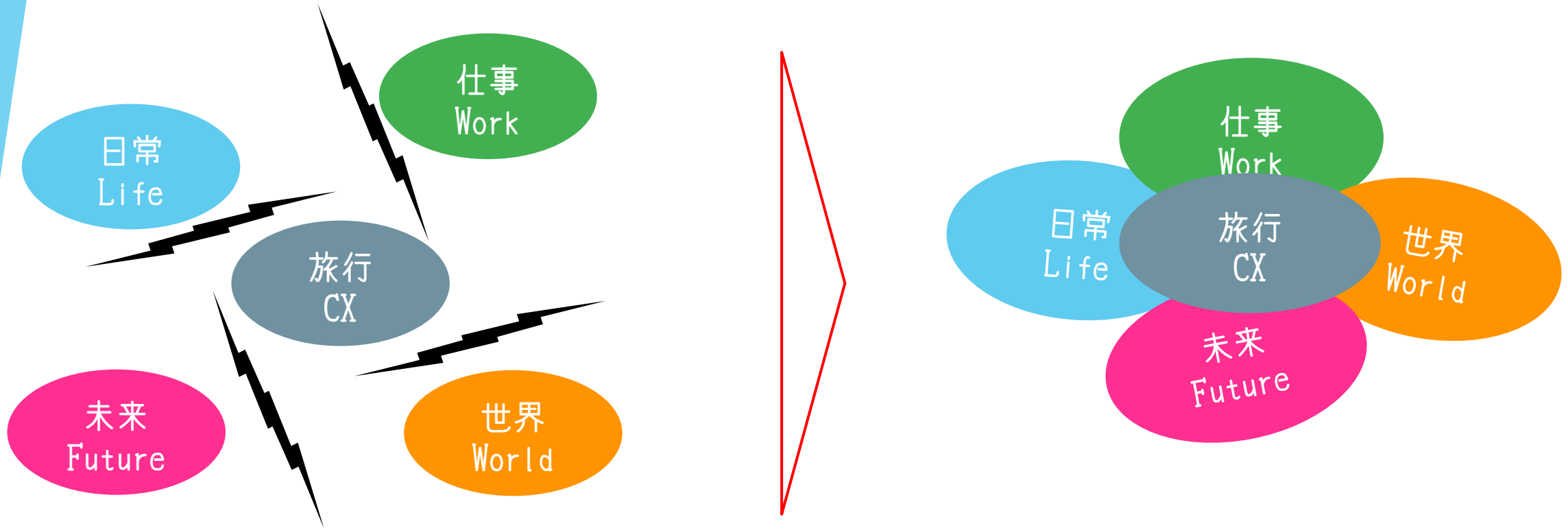
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

How To

じゃあ、どうする？

これまでの既成概念を超えて、
ホテル＆旅行という境界線を越える



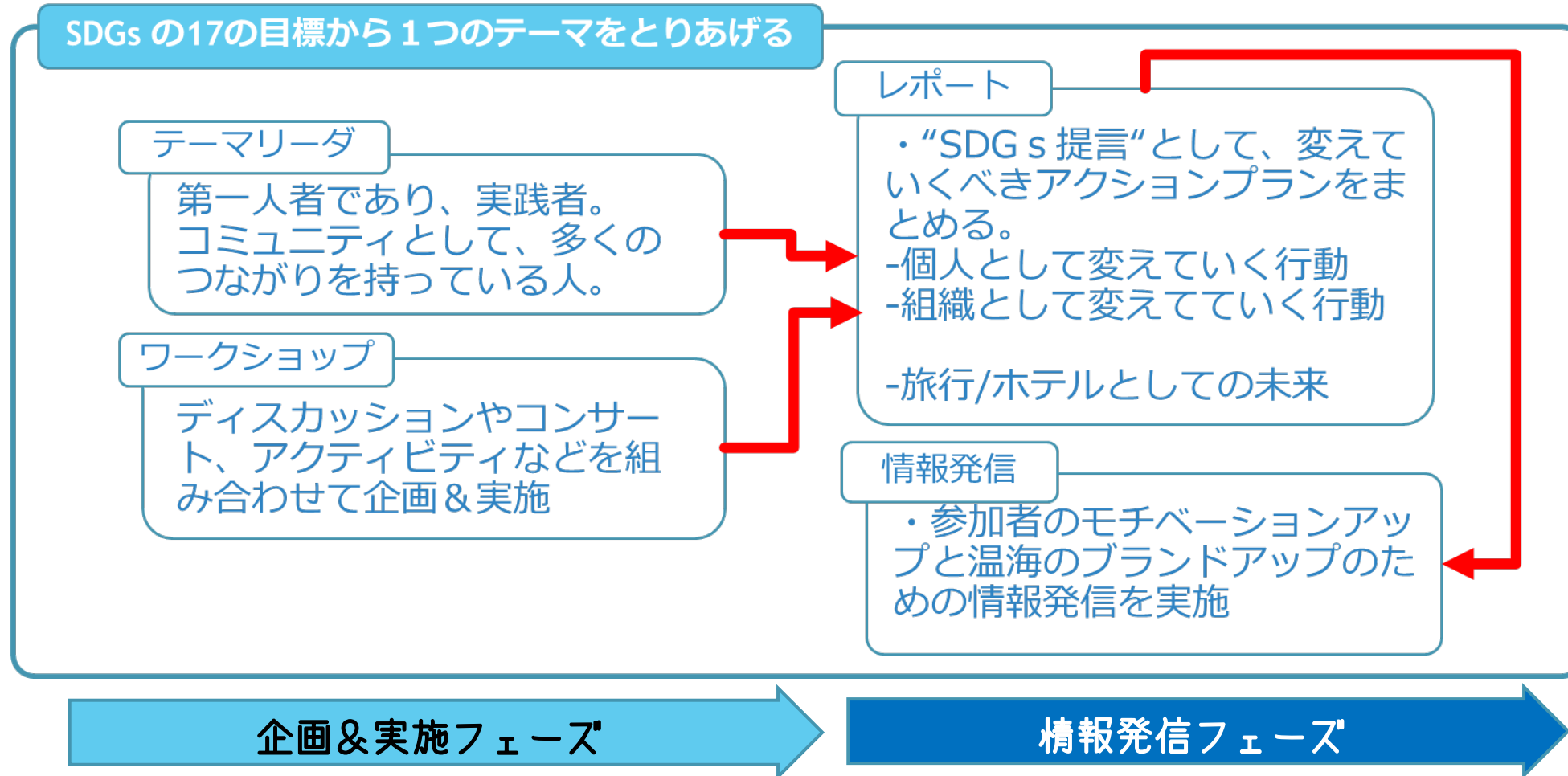
バラバラな自分、バラバラな価値観ではなく、
色々な世界や価値観、そして未来ともつながっている自分を体験する機会の創出

Plan To

こうしてみよう！

ワークショップのモジュール化 & 組み合わせでの継続性

モジュール化することで、継続的な実施と多様なニーズの見込み顧客を取り込める。
また、旅館/民宿/ホテル毎の特性や地域との連携を図ることができる。



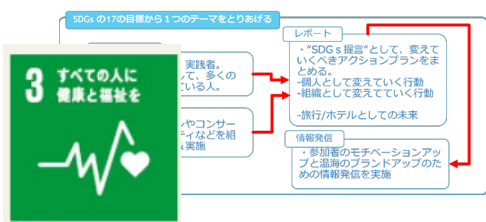
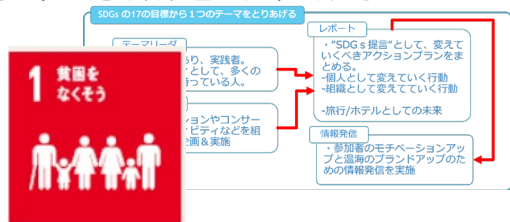
※実践フェーズと情報発信フェーズを組み合わせ、効果的なブランディングを促進する。

こうしてみよう！

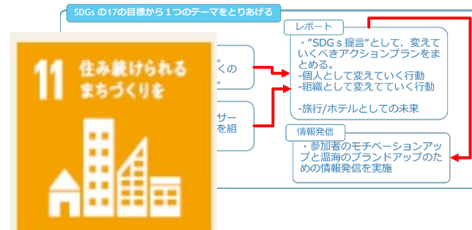
ワークーションのモジュール化 & 組み合わせで実現する競争力

どの旅館でも気軽に参画できて、山形県全体のSDGsブランドイメージを高める仕組みづくり。各地区の負担が軽減し、経験やノウハウが共有できる。他県に対しての差別化ができる。

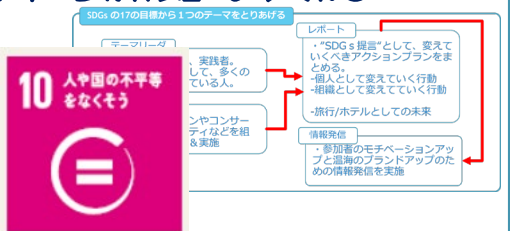
温海 A旅館で実施



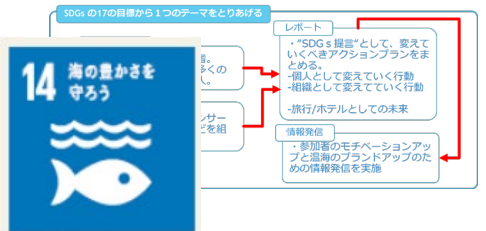
〇〇地区で実施



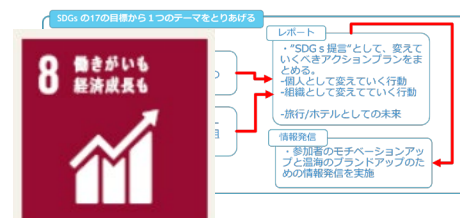
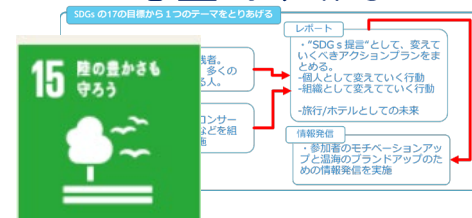
温海 B旅館で実施



温海 C旅館で実施



□□地区へ実施



「SDGs 身近なレポート」として情報発信



Do It 温海での実施計画 2020年度中(～2021/03)

やってみよう！

✓ 最初にとりあげるテーマ。



まずは、先入観を持たずに地域とSDGsについて、“懐かしい未来”の視点から見ることにチャレンジ。
基礎知識&フラットな議論&体験/体感を重視して実施。

■実施プラン：3/12(金)、13(土)、14(日) 2泊3日

アクティビティの体験、ワークショップを組み合わせる。
(もちろろん自由時間を活用してのワークも確保)

- ・定員：12名～16名（最大20名程度）
ダイバーシティの考え方が前提
- ・行政（県庁/鶴岡市/酒田市）の参加者も募る

※希望者には、延泊割引提供も検討

✓ コロナ対応として（リスクヘッジ）
リアル開催が厳しい社会情勢の時は、リーダー
+若干名だけの宿泊として、ワークショップ等
のイベントはオンライン開催とするなど検討。

Do It 温海での実施計画 2020年度中(～2021/03)

やってみよう!

SDGs : ファーストステップ&懐かしい未来編

テーマリーダー



白銀 究
JTB総合研究所 主任研究員
地域活性化、イノベーション、デザイン及びデザイン思考によるソリューション

ワークショップ

身近なSDGsを体験&体感しながら、自分自身の活動や生活を考える機会をつくる

レポート

様々なネットワークを通じて、身近なSDGsを考える方向性を発信

情報発信

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

ワークショップ

ワーケーション期間を通じて、普段とは違った出会いや発想、アイディアを刺激する機会を提供。参加者にとって、印象深い機会とし、温海ワーケーションのブランド化を図る

- ▶ 全体ワークショップ
「テーマリーダーのレクチャー」＋「4人程度のグループディスカッション」
その後、全体ディスカッションを実施。
※状況に応じて、分散会場をネットで接続して実施
- ▶ 個人毎（グループ毎）の振り返りと以下の項目についてのアウトプットのとりまとめ
 - ①未来や世界に向けて、やるべきこと（提言）
 - ②地域や社会で、できること（提案）
 - ③自分で、できること（チャレンジ）⇒このアウトプットは、HP等で情報発信予定



体験アクティビティ

気軽に体験でき、ガイドによる説明も受けられる簡易なアクティビティをメニューとしてワークショップ参加者に提供。

(季節によって、バリエーションの変化あり)

サスティナビリティ系

- ▶ 焼畑あつまかぶ ← 今回実施！
- ▶ 灰汁でつくる笹巻き
- ▶ 杭がけでつくるお米
- ▶ しな織り
- ▶ 砂浜の漂着ゴミ視察 ← 今回実施！

SDGs 体感系（情報の扱いは注意要） ← 検討中！

- ▶ アメニティの規模を知る&体感
- ▶ フードロスの現状を知る&体感

観光体験系

- ▶ 夕日体験
- ▶ 釣り体験



アウトプット

参加者の体験に深みをつくるために、適度なアウトプット機会をつくる。
また全体としての情報発信のためのアウトプットも作成

- ▶ **各自（体験レポート、アンケート回答）**
参加者と運営者、温海温泉にとっての資産となるように、体験談やアンケートサマリーを収集。
ポイントは、継続性と一貫性（テーマに沿ってわかりやすく）
※アンケートは、プレ＆ポストを実施。ワークショップの実施効果を図れるように設計。
- ▶ **全体レポート/報告書**
各自のレポートをまとめて、読みやすく情報発信しやすいようにまとめる⇒HP等で情報発信
- ▶ **動画作成&情報発信⇒2回目以降に向けて**
- ▶ **コミュニティ形成&メンテナンス**
参加者は、「温海サスティナブルメンバー」としてSlack等のコミュニティを形成。
継続した情報発信とリポートを期待



ワーケーションプログラム案(3/12~14)

個別テーマ毎に、体験&ディスカッション&アクションプランを組み合わせる印象に残るものとする

Day1 3/12(金)

持ち物

- ・動きやすい靴(山と海行きます)
- ・雨具
- ・アメニティグッズ(歯ブラシ等)

各自到着後に、それぞれの旅館へチェックイン
※チェックインとお食事を済ませてから、久遠に集合。(徒歩)

14:00~15:00 welcomeセッション
・ガイダンス&自己紹介

自由時間&ワーケーション実施
※久遠では、オフション実施
・テーマトーク
・交流会
・コワーキング案内

18:00 夕食(各旅館)
グループ(4名づつ)に分かれて実施
語り合うタペ&オンラインガイダンス
※ネットで各グループをつないで懇親も図る

20:00-22:00 夜会
・久遠からzoom放送
・久遠に来てOK
22:00-22:30 スタッフ反省会

Day2 3/13(土)

7:20~8:00 朝ヨガ(久遠)

7:00~9:00 朝食(各旅館)
~各自徒歩で移動~
9:30 久遠集合:ロビーレクチャー
10:00 出発(マイクロバス)
10:10 現地到着
10:30 説明スタート
・15分説明/5分入替/15分説明
11:20 現地出発
11:30 戻り ラウンジ・セッション
11:50 解散

ランチは各自自由

自由時間&ワーケーション体験
コワーキングスペースや旅館を活用して、各自ワーケーション実施。

16:00~ ワークショップ実施(白銀さん/平尾)
・現状のシェア&理解を深める
・QAセッション
・ディスカッション
18:30 終了

19:00 夕食&交流会(久遠)
交流促進のゲームとか。。。

20:00-22:00 夜会
・久遠からzoom放送/
※スタッフ反省会無し

Day3 3/14(日)

7:00~7:45 ウォーキング(たちばな屋集合)

7:00~9:00 朝食(各旅館)
~マイクロバスで各旅館にお迎え~
9:15~各旅館を巡回して順番に出発
9:35 海到着
レクチャー 富樫さん
10:00 海出発
10:20 各旅館に到着(巡回)

自由時間&ワーケーション
各自ランチ&チェックアウト後に、久遠集合(徒歩)

13:00 久遠集合
クロージング・セッション

14:30 解散

16:00~ スタッフ反省会

Check It

共通理解&了解事項!

懐かしい未来(Ancient Future)

2000年代初頭に、ローカル主体のサステナビリティが話題となった時に注目された視点

ものごとを大きく自然(先入観の無い)な視線から見直すこと。
そして、人間らしい身近な出来事や環境から考えてチェックしてみる。

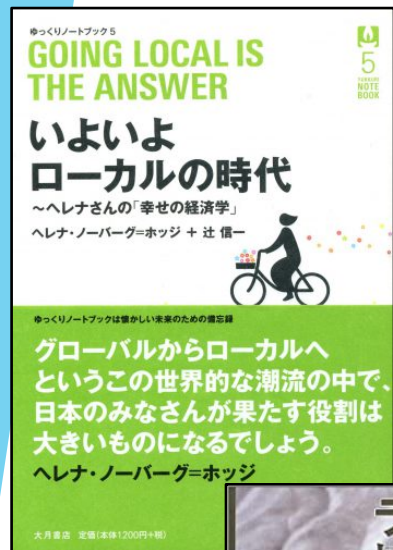
恐れ、無知からくる制約事に縛られるのではなく、
信頼とお互いを思いやるネットワークから、社会の再構築を試みる。

特定のシステムや組織、人の非難する場所を探すのではなく、
協力しあえる”接点/目標”を見つけていくことを大切にする。

未来を、技術の進化や効率だけで見ってしまうのは、もったいないと思う。

私たちの紡いできた、歴史や伝統、創り上げてきた仕組みやつながりの中にも、
”懐かしい未来”を見出す(思い出してみる)。

そして”懐かしい未来”を、みんなで味わい、共に育てることを
大きな星空のように、みんなで思い描いてみる。



Check It

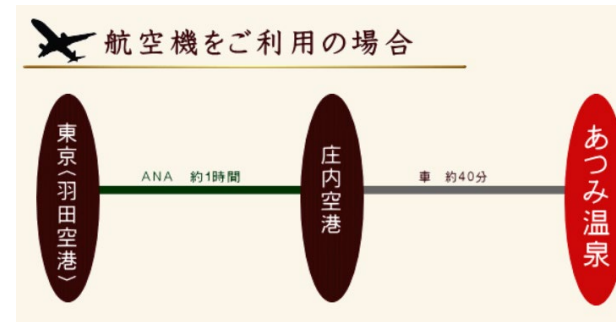
知ってる？

温海温泉(あつみおんせん)

縄文から時を刻み、開湯から1,000年以上の歴史を紡いできた悠久の温泉地。

懐かしい日本の景色を、今も色濃く残す歴史ある温泉地が温海温泉です。
川を囲みながら発展した温泉街は、自然あふれる魅力的な景観を誇っています。

所在地：山形県鶴岡市湯温海甲306



Do It

やってみよう！

今後の実施計画パターン（plan）

山形県内で、多様なニーズに応じて実施可能

- ✓ 3つのテーマを取り上げる場合のパターン
(実施地域や期間を柔軟に組み合わせての実施も可能)



■実施パターン1：
2泊3日の中で凝縮して実施



←2泊3日→

■実施パターン2：
1週間の中で分散して実施



← 1week →

■実施パターン3：
地域を分散して実施



← 地域A →

← 地域C →

← 地域B →